



初 関西大学初等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号

TEL 072-684-4312

HP www.kansai-u.ac.jp/elementary/



HP



Instagram

未来を問い、 そして挑戦する

関西大学は、「学の実化^{じっげ}」を教育理念としています。

これは、学理と実際との調和を図る

—学んだことを実際の生活や生き方に活かす—

ことをめざすものです。

関西大学初等部・中等部・高等部においても、

この教育理念を基本として

12年間の一貫教育を同一キャンパスで実践し、

高い倫理観と品格を持った、

たくましく、しなやかな「高い人間力」のある人材を育成します。



日本で唯一 関西大学初等部でしか できない教育を

初等部校長 長戸基^{もと}

関西大学は「学の実化」を学是としています。この理念には「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「英語学習の必要」「体育の奨励」という4つの柱があり、子ども向けの言葉でいうと「実生活に生きる学びをしよう」「海外にも目を向けよう」「体を鍛えよう」となります。初等部では、この理念に基づき「知・徳・体」にあたる「確かな学力・情感豊かな心・健やかな体」に加え、「国際理解力」を育むことにより人間の基礎となる部分を養い、高い倫理観と品格を有する人材の育成をめざします。

また、初等部の校訓「考動 - 学びを深め 志高く -」は、単に学力の向上だけでなく行動の変容や人間性の成長までをも期待したものです。

初等部では、めざす子ども像「感じ・考え・挑戦する子」を実現するために、「考え方を考える」ミューズ学習を軸とした思考力

育成、ミューズ学習を基盤とした教科横断的な STEAM 教育、国際理解教育、英語教育、ICT をツールとした思考力と創造性を育む教育 (Apple Distinguished School 2021-2024)、図書館教育、道徳等に加え、豊かな体験活動を通して心と体をバランス良く成長させます。

コロナ禍以降、初等部は「今の状態でできる最高の教育を子どもたちに」との思いで、日本最先端の教育にチャレンジしてきました。関西大学初等部は、どのような状況であっても子どもたちの学びを全力で支援いたします。そして、日本で唯一、関西大学初等部でしかできない教育に取り組んでいきます。

日本一の学校をめざして挑戦し続ける関西大学初等部で、ともに学びを愉しみましょう。

志を高く持ち、自ら考え行動できる力を、 一人ひとりの子どもたちに

関西大学初等部がめざす子ども像は、「感じ・考え・挑戦する子ども」です。

ミューズ学習を基盤とし、各教科や総合的な学習の時間において思考力を育成する授業を展開していきます。

また、互いを認め合い、高め合う態度を養うとともに、さまざまなことにチャレンジする機会を設けるなど、

「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」の育成を通じて「高い人間力」をもつ子どもを育てます。



確かな学力

- 知的好奇心をもとに、問いや疑問を持ち、主体的に思考する力
- 各教科等の基礎的・基本的な知識・技能の習得

- > ミューズ学習
- > 思考力育成を重視した学習
- > モジュール学習

確かな学力

国際理解力

- 相手の立場を理解した広い視野から異なった文化・考え方を受けとめ、国際協調と世界平和のために貢献する力
- 授業で学んだ英語を活用し、海外の子どもたちと交流する力

- > 交流学习(国内外)
- > 異文化間コミュニケーション体験

国際理解力

高い人間力

主体的に学び、認め合い、高め合うことをめざし、高い倫理観と品格を有する子ども

健やかな体

情感豊かな心

健やかな体

- 個々の心身の発達段階に応じたプログラムや、食育を含めた健全な生活習慣の確立を通して、運動の楽しさや喜びを体感し、めあてをもって自分を高めるために運動し続けようとする力

- > 安心・安全な給食
- > 2年～6年までの宿泊体験学習
- > 体力づくり(持久走・なわとびなど)

情感豊かな心

- 自分の周りのさまざまな人々や自然事象に触れるなどの体験を通して、人や自然とつながることのすばらしさを実感し、よりよく生きていこうとする態度

- > 異学年や異校種間での活動
- > 芸術鑑賞や体験学習
- > ミューズっ子クラブ

確かな学力

ミューズ学習



シンキングツールを使って、 頭の使い方を学びます

ミューズ学習は、考え方を身につけさせるための「思考」に特化した時間です。

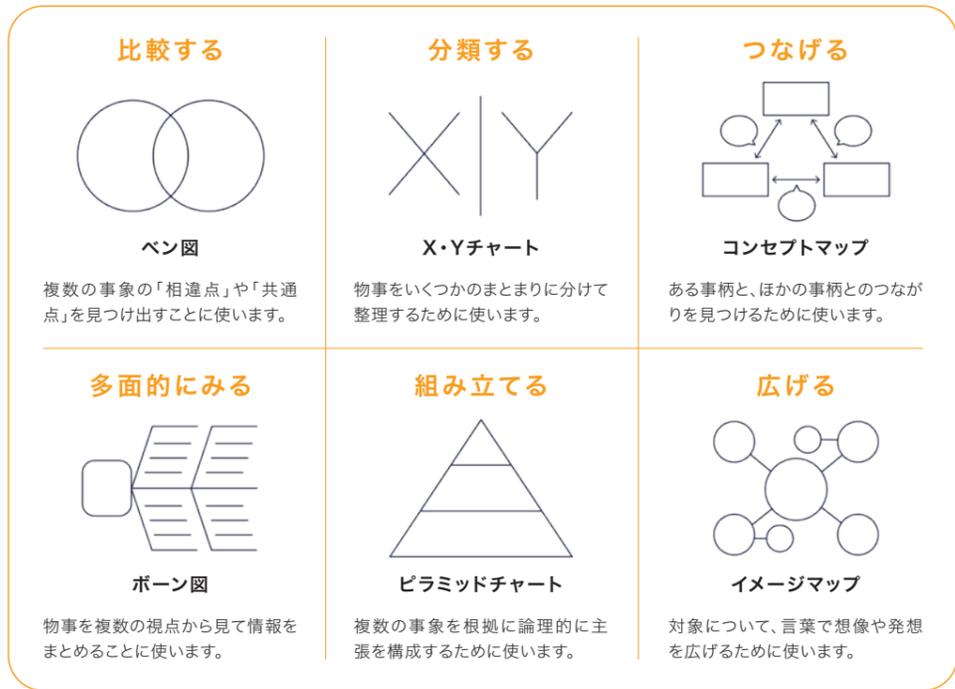
本校では16の思考スキル(考えるための技法)を定義しています。その中から、どの教科にも必要な論理的に伝える力をつけるための6つの思考スキルを選び、思考の技法を習得・活用する時間を設けています。

学年の発達段階に応じた目標を設定し、習得から活用までの体系的なカリキュラムを編成しています。

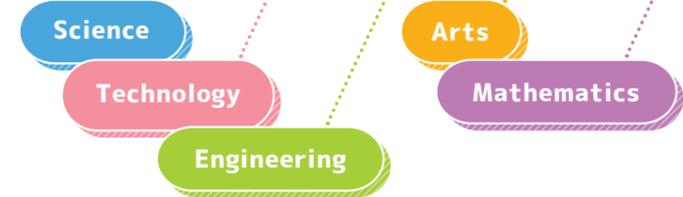
自分の頭の中を整理し、友だちの考えや自分の考えを相互に理解し合える伝達道具として、シンキングツール(思考ツール)を思考スキルと対応させながら、思考力を効果的に育成しています。

また、「何をどのように考えたら考えたことになる」のか、学習のはじめに教師が子どもたちと話し合い、ルーブリック(到達基準)を設定することで、子どもたちは明確なゴールを意識しながら、学習に取り組みます。





授業をSTEAM化する



STEAMって何?

「STEAM」とは、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術・文化・生活・経済・法律・政治・倫理等を含めた広い範囲でA (Arts) を定義した造語です。

本校では、これからの時代に求められている資質・能力である「21世紀型スキル」を活用できる子どもたちの育成をめざしています。そこで着目したのが「STEAM教育」です。

「STEAM教育」は、GIGAスクール構想と共に文部科学省や経済産業省が提唱しているもので、多様な課題が生じている今日において、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれらを統合し、課題の発見・解決に生かしていくための教科横断的な学びのことで。

本校では、「STEAM」の視点を取り入れて授業を行っています。子どもたちは物事を見る時やテキストと出合った時、自ら問いを見つけようとしています。そのときに、「STEAM」の視点を取り入れることで、問いを見つける視点が広がり、教科横断的な学びへとつながっていくことができます。

自分が追究していきたい問いを見つけた子どもたちは、自ずと答えを導き出そうと仮説を立てて試行錯誤しながら主体的に追究していきます。

この学びの過程で、子どもたちはクリティカルシンキングやロジカルシンキングを発揮しています。

※関西大学初等部は2021年度・2022年度「未来の教室」実証事業（経済産業省）に採択され、STEAM教育の先進的な実践に取り組んでいます。



考える技の習得と活用

「比較する」にはベン図、「分類する」にはX・Yチャート、「つなげる」にはコンセプトマップ、「多面的にみる」にはボーン図、「組み立てる」にはピラミッドチャート、「広げる」にはイメージマップが対応しており、中学年までにこの一つ一つの技とツールの使い方を習得します。学習するテーマに応じて情報をツールに書き込んで考えを整理し、自分の考えを「見える化」します。さらに書いたツールをもとにペアやグループ、または全体で交流することを通して、考える技を自分のものにしていきます。

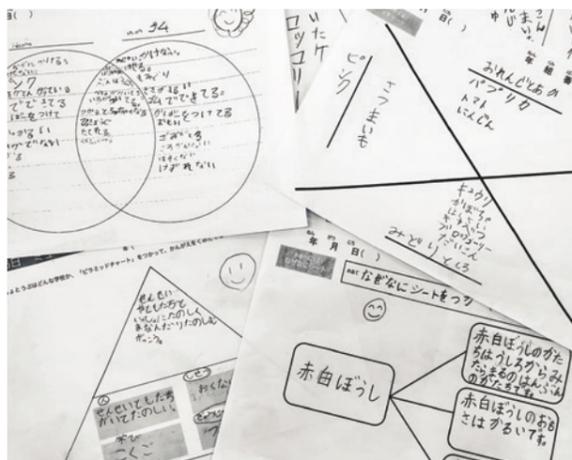
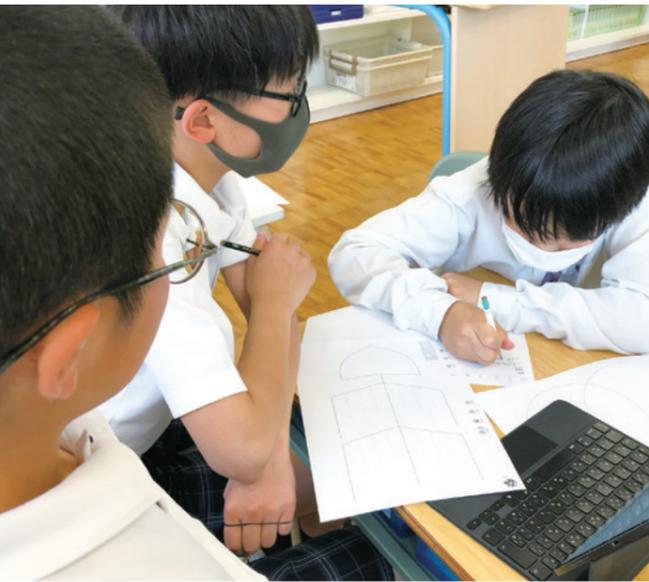
中学年では、身に付けた思考スキルを組み合わせ問題解決を行います。問題解決のプロセスである「情報収集」「整理分析」「まとめ」という3つの段階を意識し、それに合った技を選択することを繰り返し練習します。

高学年ではこの問題解決自体を「メタ認知」し、どのような方略で解決すればいいかについて思考することができるようにします。発達段階に合わせて、思考スキルを習得し、活用することができるようにしています。

探究の土台となる思考

STEAM化を手立てとした探究的アプローチの文脈において、大切になってくるのはテキスト（文脈）をどのように分解したか、分解した事象をどのように分析するかという思考活動です。探究しようとする「問い」を見出すという高次の思考には、「対象と対象を比べてみると」「STEAMの視点で分類してみると」「他の分野とつなげてみると」といったミューズ学習で習得してきた思考スキルの活用が求められます。

これまでミューズ学習、各教科の中で繰り返し行われてきた、自分の考えを可視化し、それをもとに交流しブラッシュアップしていく活動は、「どんな考えでも受け入れてもらえる」という心理的安全が保証され、安心して探究に没頭できる環境につながっていると考えています。



国際理解学習



6年生 メキシコ交流

多文化共生に目を向け グローバル社会を生きぬく力を育成

総合的な学習の時間は、国際理解学習、ミューズ学習、プログラミング学習を3本柱とし、グローバル社会を生きぬく力の育成を目標にしています。リアリティのある学びを支援するために、外国の人々と直接または間接的に交流する場を重視しています。小学生の段階からSDGsなど地球規模での課題を取り上げ、平和な世界を共に築いていく態度を養うことが重要だと考えています。

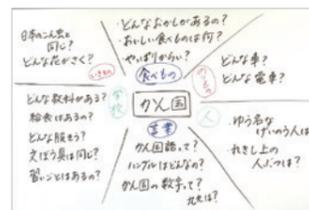
現在、世界が抱えている環境破壊、戦争、貧困、児童労働、難民等の問題は、子どもたちにとっては抽象度が高く、他人事にしか過ぎません。だからこそ、将来を担っていく子どもたちに、よりよい世界を創るためには自分はどうすべきかを考えさせるべく、社会的・国際的な問題を解決していく糸口を見つけ、多くの人たちと協働し、実践する力をつけたいと考えています。

国際理解学習 (2023年度実績)

	期待目標	学習の視点	取り上げる国・交流等 (例)
1・2年	家族や地域社会との直接的な関わりを通して、自国の文化について関心を持ち、さらに自国と比べた異文化についても目を向ける。	異文化発見	世界の民話に親しもう (1年) 韓国・花津小学校との交流 (2年)
3・4年	国際交流活動を通して、自国と他国の文化の違いや共通点を知り、異文化に関心をもつ。調べたこと、まとめたことを自分の言葉で伝える。	異文化交流	台湾 太平小学校とのオンライン交流 (3年) オーストラリアの小学校との交流 (4年)
5・6年	国際協力実践活動を通して、世界の現実を知り、自分ができる国際協力を考え、実践する中で、認め合い、支え合い、関わり合うことができるようになる。	異文化理解・交流 国際協力実践活動	ニュージーランドの小学校との交流 (5年) ネパール、メキシコ、シリアの人たちとの交流 (6年)



2年生 韓国の小学校とテレビ交流



2年生 韓国のはてなを見いだそう



4年生 オーストラリアの友達との交流準備



3年生 台湾の友達とグループ交流



英語



英語コミュニケーション力の 基礎を育む6年間

英語の音声に慣れ親しむ

1・2年生では、毎朝15分、集中して楽しく英語に触れる時間を設けています。子どもたちは、2年間かけて身近な場面で話される英語表現や音声に無理なく慣れ、自分に関わることを少しずつ話せるようになります。ネイティブの教員と直接触れ合うことを大切にしています。

英語の文字に慣れ親しむ

3・4年生では、45分の授業を週3時間行っています。ネイティブの教員が必ず授業の指導に直接関わります。英語の文字に触れる機会を徐々に増やしていき、音読についても段階的に高度な内容にも挑戦させています。英語を書き写すことも活動の1つとして実施しています。この時期からインターネットを活用した間接交流を開始します。そこでは、互いに発表し合ったり、質問し合ったりします。プロジェクト型の学習も積極的に進めていきます。

聞く・話す・読む・書くの4技能をバランスよく伸ばす

5・6年生では、45分の授業を週に4回行っています。ネイティブ教員が必ず指導に直接関わります。授業では、友だちやネイティブ教員と会話をしたり、ICTを活用したプレゼンテーションをしたりする中で、話す力や聞く力を養います。また、プロジェクトを進める中で英文を読んだり、スクリプトを書いたりしながら、読む力や書く力を育みます。4技能をバランスよく学習しながら、同時に文法事項などを定着させていきます。最近では、AI技術を活用し、子どもたち自らで発音を矯正しながら、英語をより正しく、自信を持って話せるようにしています。

6年生では、4泊7日(機内泊2日)の海外研修旅行を実施し、実際の場面で英語を使う体験をします。

外部試験の活用

希望者は、学校で英検とTOEFL Primaryの試験を受けることができます。年々上位級に合格する児童が増えています。



ICT環境



思考力 × 創造性

時代の先を見据えた情報活用能力を育てます

iPadは思考のプラットフォーム

本校はコロナ禍においても1年生から6年生までいち早く遠隔授業に取り組み、学びを継続し続けました。iPadを通じたオンラインでのやりとりによって、学校での学びが家庭へ、家庭での学びが学校へと連続しています。詩・物語の創作や、音楽・動画編集などの創造性を活かした活動はもちろん、実験結果を表にまとめてプレゼンテーション、調べたことを整理してレポートを書く、などの実用的な情報活用能力も身につけます。プログラミング学習では、プログラミングの概念を習得し、教科の学習内容に活かしていきます。子どもたちにとってiPadはただの文具ではなく、問題解決にはなくてはならない「思考のプラットフォーム」として、アプリケーションを組み合わせることで自由自在に活用していきます。「一人一台」という環境が、子どもたちの取り組みの幅を広げ、学びの質が大きく深まりました。



Apple Distinguished School 2021-2024

Apple Distinguished Schoolは、テクノロジーを活用した革新的な取組をしている教育機関が認定されるものです。関西大学初等部は、子どもたちが好奇心を持って学べるような環境と思考力と創造性を高める取組等が評価され、Apple Distinguished School 2021-2024に認定されています。

※Apple Distinguished Schoolについての詳細は、Apple社のウェブサイトをご覧ください。



国語

確かな学力

言葉と楽しく、一歩ずつ

国語科では、言葉とじっくり向き合う経験を大切にしながら、伝え合う充実感・伝える喜び・表現する楽しさを感じる子を育てます。また、「分かる」から「使える」言葉の力をつけることも目指していきます。豊かな感性や言語感覚を育み、論理的な思考力も鍛えられるよう、テキストの開発や授業展開の工夫に取り組んでいます。

- みんなでしっかり読み、考える。
- 主体的に言語活動に取り組む。
- 語彙力を育み、感性を磨く。
- 言葉を楽しく共有する。



算数

確かな学力

基礎・基本の確実な定着の上に立ち本質的な算数の楽しさを学べる算数

初等部では、子どもたちが自ら学び続け、算数・数学の本質的な魅力を実感できる授業を進めます。例えば、問題に出合った時に、その問題をどのように理解し、解決の計画を立てるのかについて深く話し合います。ただ問題に正答することではなく、算数の学びを通して問題発見力を高めることを目指しています。学ぶ内容が、客観性をもって系統的に並べられている算数の独自性を生かした学びであると言えます。また、お互いの考えを算数の言葉である図や式で表現し合ったり、読み合ったりすることを大事にしています。このようにして、算数の本質的な魅力を実感できるように授業をデザインしています。一方で、基礎的・基本的な知識・技能も確実に習熟できるように、毎日の授業だけでなく、日々の家庭学習の取り組みへのサポートもきめ細かく行います。



理科

確かな学力

考える楽しさを学ばせ、科学的な思考力を育成します

本校では、観察・実験などの実体験を充実させた授業をしています。一方で、情報化社会への対応も見据え、積極的に情報機器も活用しています。深い学びにつながる思考力の育成と共に、児童の探究心を喚起する授業を目指しています。



社会

確かな学力

自分たちの生活と社会的な事象をつなぎ主体的・対話的な活動で問題を解決します

中学年では、警察や消防署、エネルギーセンターや浄水場の見学、高学年では、工場見学、京都・奈良、被爆地である広島へフィールドワークに出かけます。既有知識と生活経験をつなぎ、多様な価値観を認め合いながら問題解決をめざします。

あって当たり前の社会の仕組みや事象に対して、さまざまな視点や立場というフィルターを通して見ることで、社会的な見方・考え方をみがいていきます。気づきや疑問から学習問題を立て、資料から根拠を導き出しながら、主体的に解決へと向かっていく。それが関西大学初等部社会科の特長です。



生活 確かな学力

自身の生活を見つめる、 さまざまな体験活動

生活科では、具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会や自然のかかわりに関心をもち、身近な生活に関わる見方や考え方を学びます。また、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせることで、自立への基礎を養います。

自然観察を目的とした校外学習では、自然に詳しい指導員の方々と一緒に、木や草花、その周りに生息する生き物の素晴らしさを体験しています。このような体験から得た気づきが、子どもたちにとって大きな財産になっていくよう見守っています。



図画工作 確かな学力

創造活動の基本的な能力を育成

図画工作では、一人ひとりの感覚や感じ方を大切にしながら、楽しく表現活動や鑑賞活動を行います。感じたことや思ったこと、考えたことを形や色などのイメージとして捉え、試行錯誤を重ねながら自分の思いを表現していきます。鑑賞活動では、良さや美しさを感じ取ったり、自分と他者のものの見方や感じ方の違いを話し合ったりしながら、発想力、表現力、鑑賞力を相乗的に高めていきます。

楽しみながら創造活動を行うことにより、生涯にわたって造形や美術に主体的に関わっていく態度を培い、豊かな人間性を育みます。



音楽 確かな学力

音楽を通して、 豊かな表現力を身につける

歌うことや聴くことが一体となった活動の中で、「音楽で遊ぶ」楽しさを知り、自然に感覚的な要素を育てます。そして、感覚的に把握したものを知的理解に結びつけるため、ソルフェージュ（読譜及び視唱）を通して基礎的な拍子感・リズム感・音感を育成し、「音楽を理解する」楽しさ、「音楽を自ら表現する」楽しさへと導きます。



家庭 確かな学力

自立した生活を送ることができる 生活者を育成

家庭科では、「家庭生活をより豊かに」をモットーに、生活に直結した具体的・実践的な事柄について学びます。裁縫実習では、基本的な技能を身につけた後、それを応用して実用的な物を製作します。製作した物を実生活で活用することにより、手作りしたものの良さや、作ることの楽しさを学びます。調理実習では、基本的な調理法を身につけることで、自立した生活への基礎を培います。



体育 確かな学力 健やかな体

仲間と協力して、 より高いめあてを達成していく喜びを

体育では、一人ひとりが挑戦課題を持って取り組める学習を大切にします。もちろんできる、できないは重要ですが、それより大事にしたいことは、あきらめずに挑戦すること、どうしたらできるようになるのか考えることです。その姿勢は他の教科や、これから先の子どもの人生に繋がるからです。本校には、人工芝のグラウンド、アリーナ、武道場、そして1年中使用できる温水プールがあり、年間を通してさまざまな運動に親しめる環境があります。これらの施設の中で、仲間と励まし合い、楽しみながら運動する喜びを味わい、将来にわたって運動に親しむ態度を育てます。



道徳 情感豊かな心

自己の生き方を見つめる 道徳科

本校の道徳科の授業では、子どもたちが自己の生き方を主体的に深く考えることができるように、適した教材を選んだり授業展開を創意工夫したりしています。

多様な価値観を有する現代社会を生き抜くために、まず自ら考えます。そして、友だちとの対話を大切にしながら協働し、自分なりのよりよい生き方を見つけていきます。



道徳的な思考力・判断力を高め、他者とともに生きようとする心の教育を展開するなかで、現実社会での実践力を身につけます。



図書館の利用 確かな学力

はてな? を追究する わくわく! 楽しむ

「はてな館」は調べるための本のセクション。授業スペースでは、百科事典など参考図書の使用方、ミューズ学習などを学びます。

「わくわく館」は読み物や絵本中心のセクション。読み聞かせスペースもある読書を楽しむ空間です。たくさんの本を使った学習で、豊かな感性や言葉の力を育てています。



「デジタル館」はデジタル図書を読むためのセクション。個人のiPadからアクセスして、いつでもどこでも本を読むことができます。



ライブラリー見取り図
「はてな館」 「わくわく館」
豊富な図書館メディアと居心地の良い空間が子どもたちの「読みたい」を育みます。





保健 健やかな体

自らの身体と心を主体的に見つめ、健康を増進していく基礎を身につけます

定期健康診断の実施や、年間3回の身長・体重測定を通して、健康面での子どもたちの健やかな成長をサポートしています。感染症対策にも留意し、衛生管理や保健指導もあわせて行っています。

また、各学年の発達段階に応じた健康教育を実施。歯磨き指導、AED、性に関する教育等、「いのちの授業」として講師を招いた多彩な授業を展開しています。



給食 健やかな体

安心安全で健やかな体を育てる自校給食

給食は自校調理を行い、バランスのとれた旬の食材を使った温かいメニューを届けています。

毎月1回の食育の日に、全国の郷土料理を取り入れています。

食物アレルギーについては個別対応しています。お子さまの状況を各ご家庭と丁寧に確認し、安心安全を第一に給食を提供しています。



安心・安全

子どもたちの安心・安全のために

子どもたちの登下校状況はICタグを利用して把握しており、登下校時に各家庭に通知されます。通学路・校内には複数の警備員(スクールガード)を配置し、子どもたちの安全を見守ります。緊急時に備えた避難訓練では、警備員、防災センター職員を交えて行うなど、キャンパス全体で安全を確保する意識をもって取り組んでいます。



制服



関西大学の品格をモチーフとした制服

上級生への憧れと、関西大学の歴史と文化に象徴される品格をモチーフに、大学のカラーである「紫紺」をベースにしたデザインになっています。初等部はグレーの上着、中・高等部は紺という区別をしながらもステッチで統一感を出しています。ランドセルは茶色で、金色の校章が入ったオリジナルです。



総合的な学習 確かな学力

自ら問いを広げ、意欲的に探究を重ねる「総合的な学習の時間」(取り組みの一部を紹介します)

3年生

「未来ドリームプロジェクト」に取り組んでいます。さまざまな職業について調べる活動を通して、将来に向けて夢をふくらませています。興味のある職業をしぼって調べ学習をしたり、その道のプロの方にインタビューをしたり。最後には、「関大キッズニア」を開催する予定です。



4年生



福祉の学習を進めていく中で、ユニバーサルデザインについての学びを深めました。「みんなにとって使いやすいもの」と

はどんなものなのか、試行錯誤を繰り返し、自分たちのアイデアを実際に3Dプリンターで出力しました。まとめとして、外部の方にも提案発表しました。

5年生

「バナナ」を題材とした学習をしています。生鮮果実消費量1位であるバナナが輸入に頼っている理由にせまるため、バナナの苗を購入し、バナナを育てる場所や条件など、算数や理科などの様々な視点から考えて育てています。また、バナナの学習を進める中で、環境問題や貿易価格、労働条件など、国際理解教育にも視野を広げています。



6年生



「みんなが助かる」防災活動に5年生から取り組んできました。昨年は体験型の防災フェスタを開催。そして今年度は、防災行動として有効と思われる64のことを実際にやってみた上で、多くの人に伝えたいことを「防災ブック」として出版しました。



初等部の一日

充実した教育のもと、いきいきとした学校生活を送る初等部の子どもたち。毎日たくさんのことを学ぶとともに、休み時間には友だちと遊んだり、多彩な本が揃うライブラリーで読書を楽しんだりしながら、協調性や豊かな心を育てています。

1:45~



おはようございます

「おはようございます」の元気な声とともに登校してくる、初等部の子どもたち。気持ちのよいあいさつから一日が始まります。

8:10



朝の会

今日一日の「めあて」や大事な連絡事項を確認する朝の会。スピーチを行ったり、上級生になると、英語であいさつをしたりすることもあります。

8:25



モジュール学習

毎日、朝の15分間を使って、国語、算数、遠隔読み聞かせの学習や読書などに取り組む「モジュール学習」の時間。1・2年生は英語学習に取り組みます。



授業(3時間目・4時間目)

理科の授業では、観察や実験を積極的に取り入れ、知的に楽しみながら、科学的な思考力を身につけます。

10:40



10:25



中休み

オープンスペースで友だちとおしゃべりをしたり、外でサッカーや遊具で遊んだりする中休み。友だち同士の交流を深める大切な時間です。

8:45



授業(1時間目・2時間目)

1時間目の授業がスタート。自分の考えをノートに書いたり、思考ツールで整理したりしながら、思考力の土台を養います。



■ 1日の流れ

7:45~	登校	12:20~13:00	給食
8:07~	予鈴	13:00~13:10	掃除
8:10~8:25	朝の会	13:10~13:30	昼休み
8:25~8:40	モジュール学習	13:35~14:20	5時間目
8:45~9:30	1時間目	14:30~15:15	6時間目
9:40~10:25	2時間目	15:15~15:20	帰りの準備
10:25~10:37	中休み	15:20~15:35	終わりの会
10:40~11:25	3時間目	15:00~15:45	ミュージッククラブ1
11:35~12:20	4時間目	16:00~16:45	ミュージッククラブ2

掃除

給食のあとは掃除の時間。各自がそれぞれ役割分担をし、みんなで協力しながら校内をきれいにします。

13:00



13:10



昼休み

みんなで仲良く過ごす、お昼休み。教室やオープンスペース、グラウンド、ライブラリーなど、校内の至る所に子どもたちの笑顔があふれています。



13:35



授業(5時間目・6時間目)

5・6年生は週4時間、英語学習の時間が設けられています。楽しみながら英語でコミュニケーションできる力を身につけます。

12:20



給食

あたたかい給食。栄養バランスが考えられたメニューのため、昼からの授業も頑張れます。

15:20



終わりの会

今日一日の出来事や明日の連絡事項を確認する終わりの会。今日も楽しかったね。

15:00



ミュージッククラブ1

16:00



ミュージッククラブ2

■ 土曜日の時間割(隔週)

7:45~	登校
8:07~	予鈴
8:10~8:25	朝の会
8:25~9:05	1時間目
9:15~9:55	2時間目
10:05~10:45	3時間目
10:55~11:35	4時間目
11:35~11:40	帰りの準備
11:40~11:50	終わりの会

アフター ミュージッククラブ 16:45~17:45

ミュージッククラブ終了後の16時45分から1時間、子どもたちを預かりライブラリーで過ごす「アフターミュージッククラブ」があります。(希望者のみ：1~3年生)



放課後の時間を利用し、希望者に有料で開講しているミュージッククラブ。子どもたちの健やかな体と情感豊かな心を育てます。

初等部の一年

活動を通して、協調性を育み、達成感を得る子どもたち
 関西大学初等部では、1年を通してさまざまな行事が行われます。行事を終えるたびに子どもたちは達成感を味わい、協調性を身につけ、大きく成長していきます。



4月 入学式



4月 1年生 交通安全教室



5月 3年生 宿泊学習



7月 5年生 宿泊学習



11月 FUN RUN



2月 6年生 修学旅行

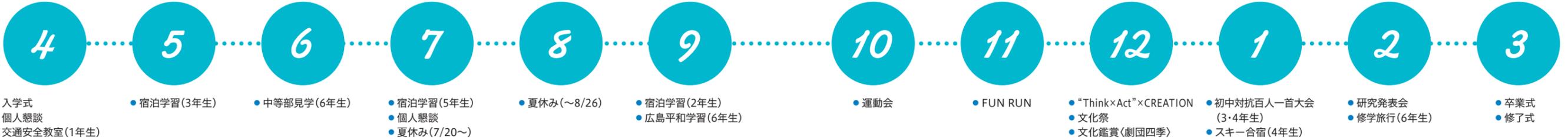


12月 "Think×Act"×CREATION



12月 文化祭

〈2023年度〉



校外学習



1年生 (万博記念公園)



2年生 (万博記念公園)



3年生 (キザニア甲子園)



9月 2年生 宿泊学習



10月 運動会



1月 4年生 スキー合宿



4年生 (神戸方面)



5年生 (ダイハツ自動車工場)



6年生 (京都方面)



9月 6年生 広島平和学習



1月 3・4年生 初中対抗百人一首大会



3月 6年生 卒業式

心と体を育む ミュージっ子クラブ

放課後の時間を利用し、希望者に有料でスポーツや芸術・文化等の講座を開講します。全ての講座において、それぞれの分野で広く活躍している指導者を招き、子どもたちに「本物」を体感させます。多彩な課外活動を通じて、楽しみながら健やかな体と情感豊かな心を育み、個性や可能性を大きく伸ばしていきます。

ミュージっ子クラブ (月～水・金曜日)	アフターミュージっ子クラブ 16:45～17:45 (1～3年生)
●1コマ目 15:00～15:45 ●2コマ目 16:00～16:45	



※ミュージっ子クラブは5月からはじまり、各コマとも半年で12回程度前期・後期の2期制での実施となります。学校行事の前などミュージっ子クラブを実施しない場合があります。

12年間を貫く、特色ある教育プログラムで
高い学力を発展的に身につけます

12年間一貫教育プログラム

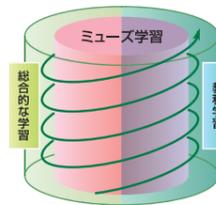
一貫教育ならではの教育プログラム

同一キャンパスにある初等部・中等部・高等部の12年間を通して、一貫教育を展開し、「高い学力」と「豊かな人間性」を育てます。従来の設置学校別カリキュラムで発生していた教科内容の重複や、校種間において急激に難易度が増すといった問題を解決するために、12年間の教科内容を一つとして捉え、一貫教育ならではの計画的・継続的なカリキュラムを開発し、体系的な授業を行います。

関西大学初等部の学び

「学びのサイクル」と「スパイラルアップ型教育」の展開

何を学ぶかに加え、なぜ学ぶのか、学んだことがどう活かされるのかという「学びのサイクル」の理解を通して学習意欲を持たせ、「基本的な学力」を確実に身につかせます。また、12年間を見通し、内容を深めながら繰り返し学ぶスパイラルアップ型のカリキュラムを開発し、「高い学力」が発展的に身につく教育を実践します。



関西大学中等部の学び

確かな学力と思考力の育成

中等部の授業は、課題解決型学習を通じて培った思考力をもとに、知識を着実に身につけていく場として展開します。また、実験、実習等の体験を重視することで、論理的に裏付けられた確かな学力を習得させ、自ら考えて行動する力を育てます。さらに、充実したICT環境のもと、学んだ知識を活用する力を養い、自分の考えをまとめ、相手にわかりやすく伝える表現力を身につかせます。フィールドワークや国際交流、思考スキルの活用等を通し、恵まれた教育環境のもと、国際化、情報化社会の中でグローバルリーダーとして活躍するための基礎を育てます。

関西大学高等部の学び

国際的な視野と探究力を備えた人材の育成

高等部では、2年生から文系・理系の選択と共に、希望進路と成績により、難関国・公立大学をめざす1クラスと関西大学をめざす3クラスに分けて、希望進路先に応じた学習を行っています。一定条件があるものの、関西大学への内部進学が可能です。また、プロジェクト学習は、過去に文部科学省から『スーパーグローバルハイスクール(SGH)』の指定を受けた取り組みをさらに充実させることで、探究する能力の育成を実践しています。また「グローバルな社会課題(SDGs等)」や「グローバルなビジネス課題」について課題(卒業)研究を行い、グローバルリーダーとして活躍できる人材の育成をめざします。

関西大学との連携

初等部から大学・大学院まで連携した教育で、優れた人材を育成します

関西大学は、13学部・13研究科及び2つの専門職大学院と留学生別科を擁する総合大学です。初等部・中等部・高等部では、大学のリソースを活用したり、大学生に初等部の授業に協力してもらったり、ミュージキャンパス内にある社会安全学部や高槻キャンパスの総合情報学部のみならず、各学部との連携により教育活動の充実を図ります。

世界に羽ばたく子どもたちの育成をめざして

初等部の第1期生が、中等部・高等部、大学での学びを終え、いよいよ、この4月から社会へ、そして世界へ羽ばたきます。開校から15年目を迎え、教育活動の具体的な内容には変化もありますが、「思考力」「考動力」「人間力」の育成を教育の柱とするには何ら変わりはありません。ミュージキャンパスでの学びを身につけた子どもたちが、これから世界でどんな活躍をしていくのか、本当に楽しみにしています。

在校生、そして、これから入学する子どもたちが、充実した学校生活を送り、一人ひとりが夢を持って自己実現することができるよう、私たち教職員一同、これからも全力で取り組んでまいります。

関西大学初等部・中等部・高等部 シニアアドバイザー 田中 達也



- | | |
|---------------|--|
| 確かな学力 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の基礎を育てる言語活動の重視と基礎・基本の習得 思考力の育成 学ぶ喜びを知る読書タイム 自主的・自立的な学習習慣の定着と学習意欲の喚起 |
| 情感豊かな心 | <ul style="list-style-type: none"> 異学年活動や宿泊行事を通じた「感じる」心の育成 芸術鑑賞やスポーツ・文化活動で育む健やかな体と情感豊かな心 |
| 国際理解力とICT活用力 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日15分間のモジュール学習(1・2年) 英語学習(3・4年:週3時間 5・6年:週4時間) 海外研修旅行(6年) 異文化間コミュニケーション体験・国際交流 ICTを活用できる学習環境とe-ポートフォリオ |
| 確かな学力 | <ul style="list-style-type: none"> 5教科の計画的な課題による家庭学習習慣の定着及び学力向上 模擬試験の結果に対する面談の実施と課題解決に向けた学習計画の作成 |
| 情感豊かな心 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒会や各種委員会活動、体育祭、文化祭、校外学習、研修旅行等、生徒主体の学校行事を通じたリーダー性と自主性の涵養 |
| 国際理解力とICT活用力 | <ul style="list-style-type: none"> 海外研修や短期留学を通して国際理解力を育成 授業で習得した学習成果をICT環境を活用して発信することで、コミュニケーション能力を育成 |
| 探究する能力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 本校の独自科目「考える科」の授業を通じて、ものごとを論理的に深く掘り下げる「垂直思考」、創造的にアイデアを引き出す「水平思考」、自分がどのような存在なのかを自己分析する「メタ認知能力」等を育成 |
| 確かな学力 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を重視した上で、文理バランスのとれた発展的内容の授業を展開 |
| 探究する能力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 多彩な国際交流経験を積み、グローバルな社会の課題から研究課題を設定 大学教員等の専門的指導や助言により、課題研究を完成 |
| 国際理解教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に応じた資質・能力・態度や技術を持った人材の育成 海外研修旅行、短期交換留学、海外の学校との交流で視野を世界に広げる |
| コミュニケーション力の獲得 | <ul style="list-style-type: none"> 受けとる力、考える力、判断する力、表現する力を鍛える 各種行事において生徒スタッフが活躍する場面を設定 |



先進のキャンパスで、 豊かな人間性を育成します。

「確かな学力」と「高い倫理観と品格」を兼ね備えた人材育成を実践するためのさまざまな施設・設備が揃う、高槻ミュージズキャンパス。子どもたちはここで、豊かな人間性を育みます。



大型ディスプレイと無線LANを整備した教室



オープン＆ワイドな階段スペース



空間を色で印象づけた各フロア



3階 初等部ライブラリー（わくわく館）



3階 初等部ライブラリー（はてな館）

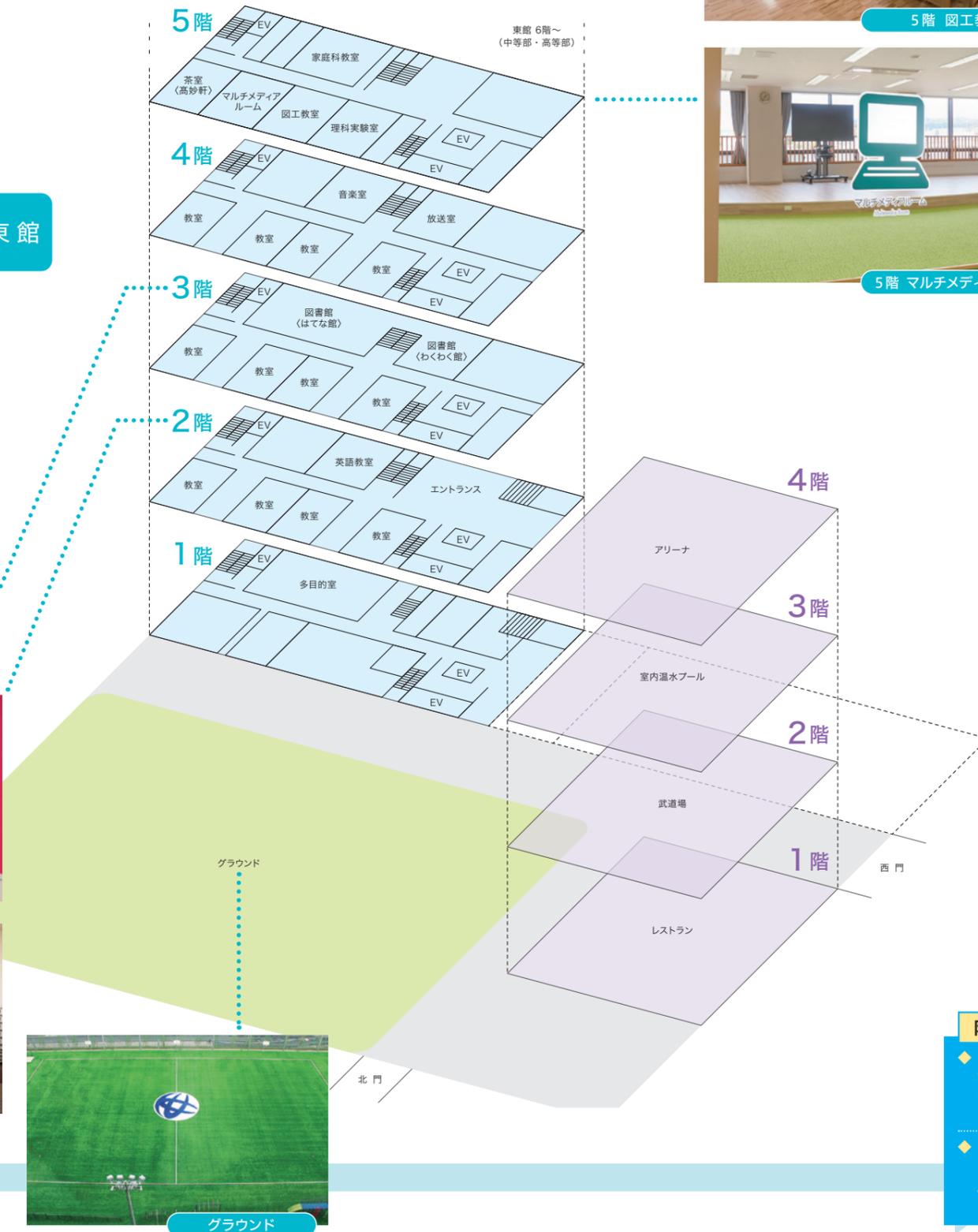


2階 英語教室



2階 初等部エントランス

東館



5階 図工教室



5階 家庭科教室



5階 マルチメディアルーム



5階 茶室(高妙軒)

北館



4階 アリーナ



3階 室内温水プール

防災機能について

- ◆ 高槻ミュージズキャンパスは、高槻市が提唱する「安全・安心のまちづくり」に貢献するため、施設内に防災機能を備え、災害時の緊急避難場所として、その役割を果たします。また、災害時における停電対策として、発電機を設置しており、地震による停電時でも冷暖房やシャワーが利用可能です。
- ◆ トイレの自動水栓等も自己発電型の器具を採用し、停電時でも動作可能としています。断水対策としては、受水槽・貯湯槽により約400人3日分の飲用水を、またプール用水浄化システムにより30日分の生活用水を確保しています。

初等部から 社会へはばたく。

関西大学初等部が開校して15年。2024年の春、1期生が大学を卒業して社会へ羽ばたきます。小・中・高・大学と一貫して学んでよかったこと。ためになったこと。役立ったこと。初等部の時代を振り返りながら当時の担任・当時の教頭と語り合ってもらいました。



プレゼンを楽しめる大人になった。

その素地を作ったのは初等部の時代だったと思う。

尾崎 みなさんは小学校から一貫して関西大学で学ばれました。実際に学んだ人にしかわからないことが多々あると思うのですが、初等部で学んでよかったことは何ですか？

濱口 一番ためになったというか、印象的だと思うのが主体性を育む授業だったということです。聞くだけの授業ではなかったじゃないですか。文章を書いたり、プレゼンをしたり。

高木 例えば、算数の授業ですね。普通の先生なら答えをいうと「はい、次」ってなるんですが、尾崎先生はそれでは終わりませんでしたよね(笑)。どうしてその解答になるのっていうすごいツッコミがよくありました(笑)。

天羽 初等部の授業の特長として、生徒に当てて、前で問題をやらせることが多かったですね。授業中、自分が当てられるかもしれないと思いながら聞いていたり、当てられたらどう説明したらいいのかと頭の中で組み立てたり。文章題でもここと突っ込まれそうかなというところは自分なりに考えて授業は受けたと思うんです。私はそれが普通だと思っていたから、特別という感覚はなかったのですが、他の学校から来た人と比べると普通ではなかったんだと(笑)。

前田 振り返ると、答えより考えるプロセスを教えてくださいましたとわかるし、考える力が身につけていることは大きくなってどれだけありがたいか痛感しています。それはさきほど濱口さんが言った主体性を育むことにもつながっています。

天羽 同じようなことがプレゼンでも言えると思うんです。プレゼンの資料を作成したり、発表したりするのは、当時の私は得意なほうではありませんでした。でも大学に進学して他の人の発表を聞いていると、資料も発表の仕方もまるで違って、そうか、プレゼンの経験値がまったく違うんだなと感じました。

前田 そうですね。私たちはプレゼンの授業で、いかに伝えるかということをお伝えしてもらったと思っています。だから資料は情報を詰め込めばいい訳ではないと学んできました。キーワードとかグラフとかをレイアウトして、情報は自分の言葉で話すほうが聞く人には伝わります。プレゼンのためにプレゼンをするのではなく、伝えるためにプレゼンをするのであって、そのための資料のあり方や話し方はどうすればいいのかを学びました。他の学校から来た人の資料を見ると、どこかの情報をコピーしたようなものがほとんどでした。

高木 小中高とプレゼンをする機会が多かったのはありがたかったですね。初等部時代からプレゼンの経験をしているので、そういう基礎作りができていました。苦痛じゃないんです。発表するのが当たり前。その感覚とスキルが身につけているのはこれからの大きな財産になると思います。

田中 豊富なプレゼンの機会が役立ったという具体的な例はありますか？

前田 一番感じたのは就職の面接のときでした。就職活動の最終選考の

プレゼンがあって、その時も一番伝えたいことは何かを自分の中で組み立てて、限られた時間の中で面接官の方にいかに伝えるかを意識したんです。そしてもっと驚いたのは、考えたり、人前で話をするのが苦ではなくなっている自分でした。質疑応答で何を言われても、これまでのいろいろな経験につなげて答えることができたので、最終選考の面接でも楽しく話をすることができました。これも初等部からの経験があったお陰だとつくづく思いました。

経験の多さが視野と興味の広さにつながっている。

尾崎 イベントが多いのも初等部の特長です。3年生は英語宿舎、4年生は天草、5年生はスキー、6年生はオーストラリアなど。その経験は活かされていますか？

高木 大きいですね。当時はオーストラリアへ行って言われても、そのすごさやありがたさはわからなかったのですが、初等部の頃から海外へ行かせてもらうと、海外や外国人へのハードルが低くなりました。小さい頃から英語に触れていたの、海外の方と英語でコミュニケーションを取った嬉しさがずっと残っていて、海外の人との距離感もほとんど感じなくなりました。

前田 広島へ日帰りで学習に行ったことは、後になってすごいことだとわかりました。他の学校は泊まりがけで行くところなんですね。他の人に言うと驚かれるのですが、私たちは日帰りの距離という認識だったので、広島や奈良などなど行動的に動いて学ぶことを繰り返す内にスピード感とか行動力が知らず知らずの内に身につけていました。

濱口 他の学校の人には「当たり前じゃない」ことを「当たり前」のようにしてもらえたことは大きいですね。海外であったり、歴史を学びに行ったり、天草とか、いろいろな地域へ行く。学校の中での学びも含めてそういう行事があったから、いつの間にか、無意識に、自分の中にいろいろな引き出しを持てるようになっていて、それが何かに取り組みとか、一歩踏み出す時に、何も経験してこなかった人よりも進みやすくなっているところはあります。



高木 日菜子さん
関西大学 外国語学部 外国語学科



前田 果穂さん
関西大学 政策創造学部 政策学科



天羽 咲希さん
関西大学 法学部 法学政治学科



濱口 怜央さん
関西大学 商学部 商学科

天羽 私もそれは感じていて、初等部でインドのことを学んで、実はそれが私の人生の衝撃的な分岐点になっているんです。初等部の授業でインドを知ってから発展途上国の貧困に興味をもって、高校の卒論でもそんな内容のものにしました。大学に入ってからは、政治的、法律的視点からも学びたいと思い法学部を選びました。卒業論文も発展途上国の課題についてのものになりました。恐らくですが、聞くだけの授業しか受けていなければ、小さい頃からひとつのテーマを学び続けることも、今の進路もなかったと思います。

小・中・高・大学と一貫だからこそ 身につけることができるものがたくさんある。

濱口 天羽さんの話で思うのは、初等部から大学まで一貫して学んできたことも大きいということです。僕もいろいろな経験をさせてもらって、日本と海外の架け橋になりたいと思って、文部科学省から海外留学生として行かせていただいたり、大学時代も東京パラリンピックの競技ボランティアに参加したりしました。人生の方向がめばえて、それに進めるのは受験がなかったからだと考えています。

高木 受験があればそこで興味のあることは後回しになって勉強に専念しなければなりません。1年ブランクがあると興味も分断されて、それっきりになることも多いと思う。でも一貫校の場合は分断されることがありません。それは強みですよ。

天羽 初等部時代から十数年も同じことに興味をもって、大学を卒業するまで研究続けてきたことは自分では当たり前と思っていたのですが、就職面接の時に企業の方から言われました。「それって天羽さんの大きな強みですよ」って。もうひとつ言われたのが「一貫校だからできたことですね」って。

前田 同じ環境にいるからできるんですよ。

尾崎 昔の企業は一貫校出身の学生の採用はさけたいという流れがあったようですが。今の話を聞いていると就職活動でも逆にいい方向に作用しているようで、教える方としてはほんと胸をなでおろしくなります(笑)。

濱口 関西大学に限って言えばまったく問題はないと思います。就職活動の面接は一例です。僕たちは一貫校で学んだからこそ人生が開けていると思っていますから。

前田 授業は聞くよりも話すほうが多かったじゃないですか。初等部の時からグループで学ぶことも多かった。プレゼンのように参加する授業も多かった。それが小・中・高と続いていきました。するとそれが当たり前になるというか、逆に聞くだけの学びは物足りなくなるというか…。

高木 わかります。例えばシンキングツールとか、文章を書くときでも、初等部の頃は何かを書くかを、全部洗い出してから始めるようにと教えられました。高校とか、大学になると適当に書き出そうと思うのですが、初等部時代の記憶があるから、サボりたくても、やっぱりもう1行



尾崎 正彦
当時の6年担任



田中 達也
当時の教頭

洗い出してから書いてみようということになるんです。適当に書いて、発表することに罪悪感を覚えるようになっていきます。

尾崎 そういう感覚を養うのは、教育の世界では初等部時代がラストチャンスと言われています。そこで適当に書くことを覚えると、以後の人生、ずっと適当にやってしまうんです。だからみんなの学びは、今後の仕事とか夢の実現の大きな財産になると思いますね。

こんなふうに初等部時代を充実させてほしい。 これから後輩になる人へのメッセージ。

田中 では、最後に後輩たちへ、そしてこれから関西大学初等部へ入ろうと考えている人たちへメッセージをください。

天羽 何か一つでもいいから、自分が面白い、この世界が好きって思うことを初等部時代に見つけて欲しい。自分の場合はそれがインドを知ったことで、大学まで同じことに興味をもって勉強するなんて当時は思ってもいませんでした。人生の中でも初等部時代に面白いなって経験したことはずっと残っていくはずなので、勉強面がそんなに好きではない人も初等部は他のことも充実しているから、自主的に面白くなっていく世界を見つけてずっと大事にしてほしい。初等部にはできる環境があるので。

濱口 いろんなことが学べる環境だからこそ、自分でしたいと思ったことを自分で決めて、それを最後までやり続けてほしいですね。自分で拓いていくっていいのでしょうか。親の反対とか、失敗とかいろいろあるとは思いますが、そういうのも含めて、自分で決めた決断を大切に学びと経験を重ねてほしいです。小中高大一貫だからこそ区切ることなくそのまま突き進めるので、その環境を最大限に活かして、決めた何かを最後まで続けてほしい。

高木 今ある環境を当たり前と思うかも知れないけど、大人になったらこの環境は当たり前じゃなかったとわかるので、今、与えられている勉強だったり、その行事を、毎回、思いっきり楽しんで、そのときの感情を忘れないでほしいと思います。その一瞬一瞬を大事にして、その感情を忘れたら、絶対どこか将来でそのときの経験を思い出して、背中を押してくれることにつながります。初等部っていう、本当に恵まれた環境だからこそ、大事に過ごしてほしいと思います。

前田 初等部の学びは答え合わせで終わることがなく、中身というか、考え方だったり、答えに行きつくまでのプロセスを重視して、工夫されていると感じています。行事も含めて、答えがないものを見つけてきたというか、数学なら解答があるかもしれないけれど、そんな問題ばかりじゃなくて、目に見えない物を教えていただけたことがたくさんあったと思っています。イベントの経験とか、考えるプロセスの習得は大人になったら大きな財産になるので、一瞬一瞬を楽しんで、輝く人になってほしいです。

尾崎 今日ありがとうございます。1期生を社会へ送り出すこと、そしてその人たちの声を聞いて、私たちの教育に間違いはなかったと改めて思いました。先生のほうこそ、みんなにありがとうとお礼を言いたいです。今後の活躍をますます期待しています。



2025年度 入学試験概要 (新1年生)

A日程と**B日程**の2回、入学試験を実施します。

募集人員

A日程と**B日程**合わせて
男女計60名
(関西大学幼稚園からの入学者
若干名を含む)

出願資格

2018年4月2日～
2019年4月1日までに
生まれた者

試験会場

関西大学
高槻ミュージズキャンパス

A日程

■ 出願方法・期間

インターネット出願
2024年7月10日(水)～8月20日(火)

■ 入学検定料・納入期間

20,000円
2024年7月10日(水)～8月20日(火)

■ 試験日・試験内容

志願者に対する親子面接及び考査・行動観察により、総合的に判断し、合格者を決定します。なお、入試内容・成績等は公表いたしません。

親子面接

2024年8月25日(日)～9月7日(土)のうち、
本校が指定した日

考査(ペーパー試験)・行動観察

2024年9月13日(金)

■ 合格者発表

2024年9月17日(火) 合否通知発送

B日程

■ 出願方法・期間

インターネット出願
2024年12月2日(月)～2025年1月13日(月・祝)

■ 入学検定料・納入期間

20,000円
2024年12月2日(月)～2025年1月13日(月・祝)

■ 試験日・試験内容

志願者に対する親子面接及び考査・行動観察により、総合的に判断し、合格者を決定します。なお、入試内容・成績等は公表いたしません。

親子面接

2025年1月18日(土)～1月21日(火)のうち、
本校が指定した日

考査(ペーパー試験)・行動観察

2025年1月25日(土)

■ 合格者発表

2025年1月27日(月) 合否通知発送

説明会の詳細および参加申込方法は、本校ホームページよりご確認ください。各説明会の参加申込みは、開催日の約1ヵ月前より開始いたします。



本校ホームページへは
こちらからアクセス!

www.kansai-u.ac.jp/elementary/

関西大学初等部

検索

2025年度 入学試験 インターネット出願の出願方法については、本校ホームページより「出願ガイド」をご確認ください。(A日程・B日程共通)



インターネット出願ガイドへは
こちらからアクセス!

<https://www.kansai-u.ac.jp/elementary/admission/index.html>

Q & A

Q 通学圏はどの範囲でしょうか?

A 自宅から1時間程度で通学できる範囲が目安です。

Q 全員が関西大学の中等部へ進学できるのですか?

A 高等部までの12年一貫教育を考えていますので、関西大学中等部への進学が基本です。

Q 土曜日の授業はありますか?

A 3年生以上は、第2・4土曜日に、4時間の授業を行います。また、授業参観や運動会・文化祭などの学校行事がある場合には、1・2年生の児童も参加します。

Q 給食を実施していますか?

A 専門の業者による給食を実施します。栄養士や養護教諭等との連携のもとで食育も推進していきます。家庭と学校の両方で食についての教育を行うことが重要と考えています。

Q 編入学は予定されていますか?

A 実施する場合はHPにてお知らせいたします。

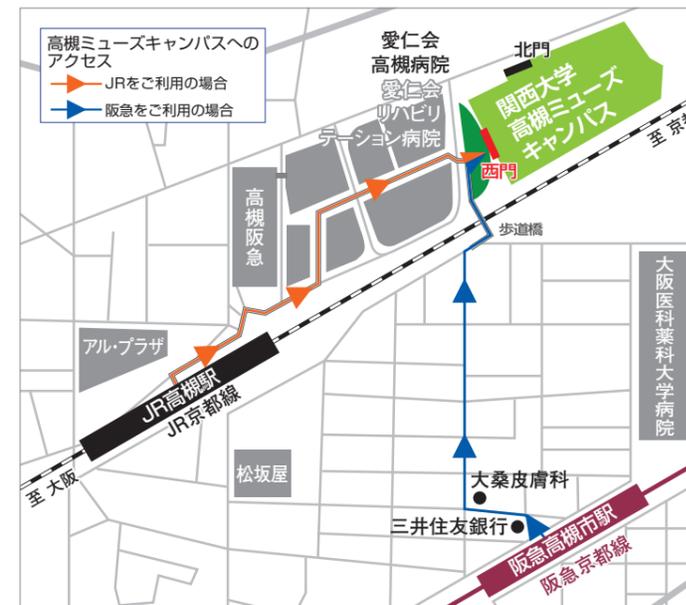
Q 放課後に子どもを預かってもらえますか?

A 学童保育はありませんが、ミュージズっ子クラブ終了後に、アフターミュージズっ子クラブとして1時間お預かりすることはできます(1～3年生のみ)。

Q 生まれ月による配慮はありますか?

A 一定の配慮を行い、総合的に判断します。

ACCESS



- JR京都線 高槻駅下車、徒歩約7分
- 阪急京都線 高槻市駅下車、徒歩約10分

関西大学高槻ミュージズキャンパスの最寄り駅へは

- 大阪市内から
 - JR大阪駅から 約15分
 - 阪急 大阪梅田駅から 約22分
- 京都方面から
 - JR京都駅から 約13分
 - 阪急 京都河原町駅から 約23分
- 神戸方面から
 - JR三ノ宮駅から 約40分
 - 阪急 神戸三宮駅から 約48分
- 枚方・寝屋川方面から
 - 京阪 枚方市駅からバスで 約25分
- 滋賀方面から
 - JR大津駅から 約25分
- 堺方面から
 - Osaka Metro 天下茶屋駅から 約44分

関西大学初等部
通学経路のご紹介

